

授業科目名	人間教育学ゼミナール（応用）(2100310)		
時間割名	人間教育学ゼミナール（応用）(15107)		
時間割担当	大淵裕美		
実施期	通年	単位数	4 必修 選択
曜日・時限	月・5		

授業の目標・概要

人間教育学として、自らが深めていきたい専門領域を決め、基礎科目ゼミナールで身につけたアカデミックスキルを駆使し、専門分野の文献や論文によって見識を深めていきます。必要に応じて、実習や地域交流などを行い、主体的に自らの専門性を深めていきます。

本ゼミナールでは、人間教育学ゼミナール（基礎）に引き続き、文化メディアと教育の関係について社会的視点から分析し、考察することを目的とする。具体的には、文化メディアに関する現象を取り上げ、理論的・実証的研究を通じて複眼的に検証する。理論研究は、文化社会学、教育社会学、観光社会学、ジェンダー論等の学術書の読解を通じて、実証研究への足がかりとする。実証研究は、調査倫理について十分な学修を行い、研究対象の解明に応じた調査方法論（量的調査・質的調査・資料調査等）の基礎を学修する。研究成果は、冊子等としてまとめ、調査協力者への還元を行う予定である。

学習の到達目標

- ・文化メディアと教育の関係について社会的視点から分析し、考察するための基礎的な能力を修得することができる。
- ・文化社会学、教育社会学、観光社会学、ジェンダー論等の学術書を読解する能力を形成する。
- ・調査倫理に関する基礎的な知識を修得することができる。
- ・研究対象の解明に応じた調査方法論（量的調査・質的調査・資料調査等）の基礎を修得することができる。

授業方法・形式

ゼミ生が興味関心を持ったテーマを、毎回レポート発表し、ディスカッションによってより内容を深化させる。学内にとどまらずフィールドワークを積極的に行う予定である。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション(人間教育学ゼミナールの目的・内容・文献検索等について)
- 第2回 テーマの設定(興味・関心のあるテーマに向けて)
- 第3回～第12回 ゼミ生発表（1）～(10)(テーマに基づく学生の発表と討論)
- 第13回～第15回 調査方法に関する基礎学修
- 第16回～第25回 ゼミ生発表（1）～(10)(テーマに基づく学生の発表と討論)
- 第26回～第28回 フィールドワーク等の実施
- 第29回～第30回 研究発表と総括（各学生の研究発表と討論）

成績評価の基準

毎回のゼミ発表、レポート、最終成果物等を総合的に評価する。

準備学習・復習及び授

文献講読、フィールドワークに向けての事前・事後学修、及び報告書等の作成などを行う。

履修上のアドバイス及

「情報と分析」・「社会学」・「共生と社会」などの科目との受講をすることで理解を深めることができる。

教材・教科書

その都度指示する。

参考書

その都度指示する。